

ワイヤレストーク

DECT準拠方式^(※1)

このたびは本製品をお買い上げいただきありがとうございます。

WCP10CS6 親機・子機6台セット 〈防雨形^(※2)〉

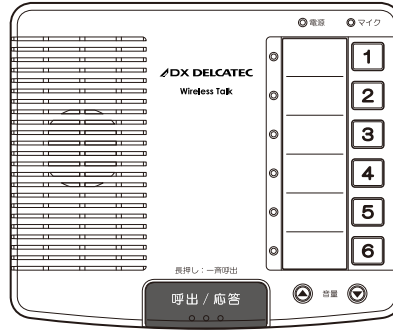
保証書付

ご使用前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに保管してください。

(※1) DECT (Digital Enhanced Cordless Telecommunications) は ETSI (欧州電気通信標準化機構) の商標で、世界で広く普及している無線通信方式のひとつです。

(※2) 防水性能：IPX3 (防雨形)
子機のみ (親機は除く)

(※3) 本製品には電源スイッチがありません。



親機^(※3)



子機^{(※2)(※3)}

もくじ

はじめに	1 ~ 3	相手の声の大きさを変える (受話音量)	12
安全上のご注意	2・3	着信音の大きさを変える (着信音量)	12
ご使用前に	4 ~ 9	着信音の鳴り分け設定	13
本製品について…知っておいただきたいこと	4	電池残量警告音の入・切設定	13
本システムのできる通話のイメージ	4	自動応答を設定する	14
各部の名称とはたらき	5 ~ 6	一斉呼び出し機能の入・切設定	14
ランプの表示について	7	機器の登録を解除する (初期化する)	15
快適な通話を保つために準備する	7	親機に登録する	16
	8・9		
使いかた	10・11	故障と判断するまえに	17・18
通話する	10・11	仕様	19・20
設定する	12 ~ 16		

セット内容

(※4) 子機は、工場出荷時に親機の数字ボタン (1 ~ 6) に登録されています。

親機 【1台】	子機 【6台】 ^(※4)	親機用 AC アダプター (UCL305-0505-JDXA-0004) 【1個】	子機用 AC アダプター (GCF305S-0506) 【6個】
ベルトクリップ (壁掛け時に使用) 【6個】	木ネジ (3.1×16 mm) 【14本】		取扱説明書 【1部】

はじめに

ご使用前に

使いかた




設定する

故障と判断する前に

仕様

安全上のご注意

お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。

 危険	誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負う危険が切迫して生じる可能性があるもの
 警告	誤った取り扱いをすると、死亡や重傷を負うなど重大な結果に結びつく可能性があるもの
 注意	誤った取り扱いをすると、傷害または家屋・家財などの損害に結びつく可能性があるもの

	一般的な注意事項		水ぬれ禁止		接触禁止		指示を守る
	一般的な禁止事項		分解禁止		ぬれ手禁止		プラグを抜く

警告

指定の電源で使用する

- ◇必ず付属の専用 AC アダプターを使用する。
他の機器の AC アダプター等を使用すると火災や感電の原因となります。
- ◇付属の専用 AC アダプターは AC100V (50/60Hz)コンセントを使用する。
100V 以外のコンセントに差し込むと、火災や感電、故障の原因となります。



下記のような場所や条件では、人体や医療機器等に影響を与える場合がありますので、取り付けないでください



- ◇病院等の使用を禁止された区域
- ◇医療用電気機器の近く
(手術室、集中治療室等)
- ◇自動ドア、火災報知機等の自動制御機器の近く
- ◇心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以内の位置
誤動作による事故の原因となることがあります。

次の場所に設置しない

- ◇雨水などがかかる場所
親機は、軒先であっても台風等により雨水が内部に侵入し、故障の原因となります。
- ◇直射日光の当たる場所、熱器具の付近や高温になる場所、湯煙や湿気、ホコリの多い所
火災や感電、故障の原因となります。
- ◇強度の不足する場所、不安定な場所
落ちたりして、けがの原因となります。
- ◇人の通行の妨げになる場所
AC アダプターのコードを引っ掛けたりして、けがや破損の原因となります。



異常があるときは、すぐに使用をやめる

- 次のような異常時は、AC アダプターをコンセントから抜き、販売店・工事店、または当社カスタマーセンターに連絡してください。
- ◇煙がでる、変な臭いがする
 - ◇内部に水や昆虫、物が入った
 - ◇異音が出る
 - ◇AC アダプターのコードや、本体の外部が破損、劣化している
火災、感電、けが、故障の原因となります。



スピーカーを耳にあてない

着信音や通話音による難聴等の原因となります。



結露した状態で使用しない

故障の原因となります。
電源を止め、結露がとれた後に電源供給し直してください。



分解や改造はしない

分解や改造は法律により禁止されていますので、絶対にしないでください。



⚠ 警告(つづき)

ぬれた手でさわらない

感電や故障の原因となります。



雷が鳴り出したら本体やコードに 触れない

感電の原因となります。



⚠ 注意

距離が離れていたり、100m 以内でも、
間に次のような障害物が存在したり、環
境により、電波が弱くなってブツブツ音、
通話の途切れが起きて使えないことが
あります



● 障害物

- ・ ドア(金属製など)や雨戸(シャッター)
- ・ 複層ガラスの窓
- ・ アルミ箔入りの断熱材が入った壁
- ・ 壁を何枚も隔てたところ
- ・ コンクリートやトタン製の壁

● 環境

- ・ テレビ、ラジオ、携帯端末の電波塔が近くにあ
る場合。
- ・ テレビ、ラジオ、パソコン、FAX、電波式送信機
や受信機など電波を発生している家電製品や
その他のOA機器が近くにある場所。
- ・ 近くで PHS を使用している場合。
- ・ 各機器をそれぞれ別の階や家屋等で使うとき。

お手入れの注意

ベンジンやアルコール、シンナー等は使わず、乾い
た布で乾拭きしてください。



溶けたり、変形、変色の原因となります。

防水性能について

子機は、JIS 保護等級 3 (防雨形) 相当の防水性能
がありますが、完全防水構造ではありません。
多少の水に濡れても使用できますが、水没した場
合は故障の原因となります。なお、親機と AC アダプター
には防水性能はありません。

この製品の使用周波数に関するご注意

電波について

この製品は、1,895.616 ~ 1,902.528MHz を使用する無線設備です。この製品には 1.9GHz 帯を使用する無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されます。(一般社団法人 電波産業会 標準規格「ARIB-STD-T101」準拠)

1.9-D

この製品の使用周波数に関するご注意

- この製品の使用周波数帯では、PHS の無線局のほか、異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。この製品は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、この製品から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、ご購入店、当社カスタマーセンターにご連絡いただき、混信回避のための処置等(例えばパーティションの設置等)についてご相談ください。
- この製品を CS デジタル放送を受信している環境で使用する場合、CS デジタル放送のアンテナ伝送路にこの製品の電波が混入(テレビ映像にモザイク状のノイズが発生)する可能性があります。この場合、シールド性の高い衛星放送対応の分波器、接続ケーブルをお使いいただくことで影響を軽減できる場合があります。
- 無線 LAN とは周波数が異なるので混信することはありません。

本製品について…知っておいていただきたいこと

- **通話は1対1**で行ないます。(3者以上の同時通話はできません。)
- 1台の親機に対して、**子機および簡易移動機<別売>を最大6台まで登録**できます。
※本製品にはあらかじめ子機6台が登録されています。
- 登録済み子機の代わりに、別売品の簡易移動機をお使いいただくこともできます。

この場合、登録済み子機の登録を解除(初期化)し、お使いになる簡易移動機を親機に登録する必要があります。手順について詳しくは「機器の登録を解除する(初期化する)」(⇒15ページ)、「親機に登録する」(⇒16ページ)をご覧ください。

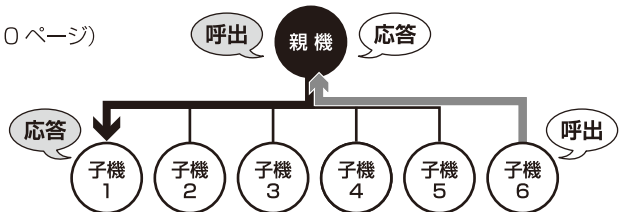
- 1台の子機または簡易移動機<別売>に対して、**1台の親機にしか登録できません**。(すでに登録済みの子機は、別の親機に登録はできません。)
- **子機または簡易移動機<別売>どうしの通話も可能**です。(子機からの指定呼出はできません。)
- **同時に2回線で通話が可能**です。(本ページの下部参照)
- **全ての呼出や通話は、親機を介して行ないます**ので、親機の電源が切れたり、親機の電波がさえぎられると子機または簡易移動機<別売>からの呼出や通話ができなくなりますのでご注意ください。

本システムでできる通話のイメージ

特定の相手と通話する(指定呼出) (⇒10ページ)

特定の相手を呼び出して、通話をすることができます。

ご注意 子機からは指定呼び出しできません。

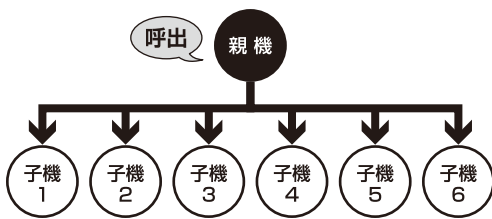


一斉呼出をする (⇒11ページ)

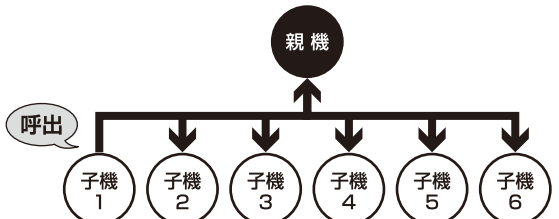
登録されているすべての機器を一斉に呼び出すことができます。また、呼出に最初に応じた1台と通話をすることができます。

ご注意 通話は1対1となります。

親機から子機への一斉呼出



子機から親機・子機への一斉呼出(例:子機1からの呼出イメージ)

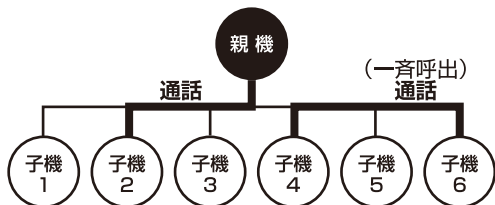


同時に2回線で通話をする

ご注意 通話は1対1となります。

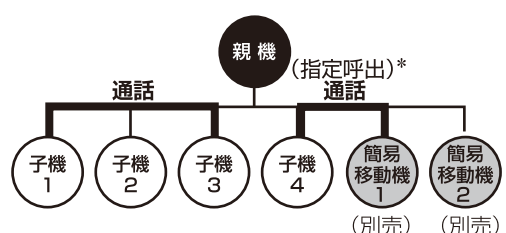
親機・子機6台セットの同時2回線通話

一組の親機(または子機)と子機が通話中に、他の子機どうしが通話可能です。通話していない残りの子機に対して一斉呼出を行ないます。(ただし子機どうしは指定呼出をすることはできません。)



簡易移動機<別売>増設時の同時2回線通話

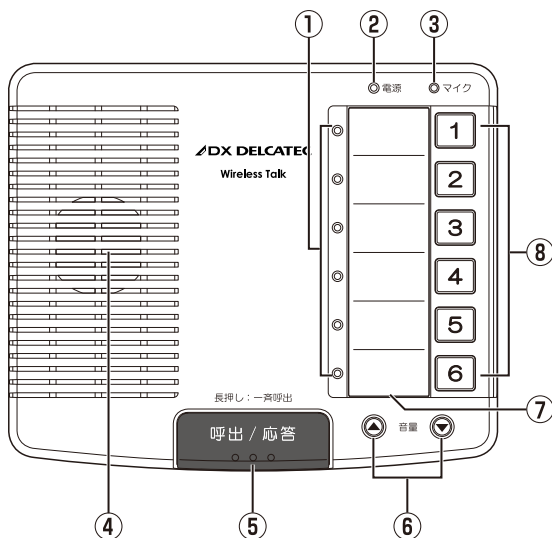
子機側から指定呼出を行ないたい場合には、別売の簡易移動機をご購入ください。すでに1組が通話中に、簡易移動機から子機や親機、別売の簡易移動機を指定呼出*することができます。(親機からも指定呼出が可能です)



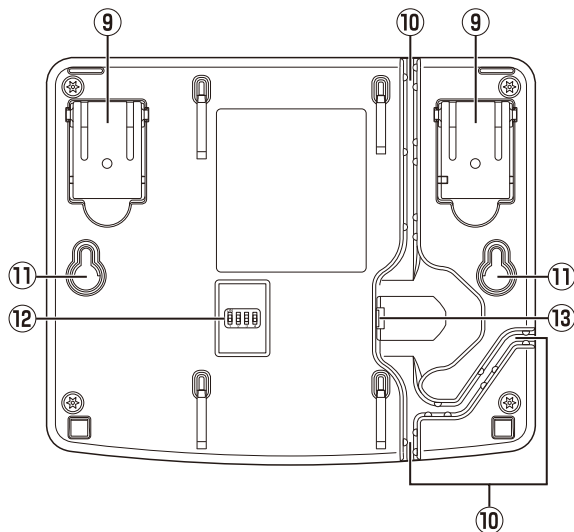
各部の名称とはたらき

親機

<正面>



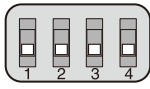
<背面>



<正面>

- ① 着信ランプ } 本製品の状態をLEDランプの点灯状態で示します。
- ② 電源ランプ } 詳しくは「ランプの表示について」(⇒7ページ)
- ③ マイク
通話時はこの部分に向かって話します。
- ④ スピーカー
呼出し音や着信音、通話時の相手の声はここから聞こえます。
- ⑤ 呼出／応答ボタン
 - ・他の機器を呼び出すとき、または呼び出しに応じるときに使用します。
 - ・長押し(3秒以上)すると、登録されているすべての機器を「一斉呼出」(⇒11ページ)します。
- ⑥ 音量▲／▼ボタン
 - ・音量(受話音量・着信音量)を調節します。(⇒操作方法は12ページ)
 - ・設定中の操作に使用します。
- ⑦ メモラベル
登録相手先の名前などを記入できます。
※ 記入には油性ペンまたは油性ボールペンをお使いください。鉛筆で記入すると、擦れて消える場合がありますので、ご注意ください。
- ⑧ 数字ボタン(1～6)
登録されている特定の相手呼び出す「指定呼出」(⇒10ページ)の際に使用します。

<背面>

- ⑨ スタンド
起こして使用します。(⇒8ページ)
- ⑩ ケーブル通し(3方向)
付属品の AC アダプターのケーブルを通します。設置状況に合わせて3方向に配線を引き出すことができます。
- ⑪ 壁掛け用穴
壁掛け設置の際に使用します。(⇒設置方法は8ページ)
- ⑫ セレクトスイッチ
 
 - 1: 電池残量警告音の設定に使用します。(⇒13ページ)
 - 2: 一斉呼出の設定に使用します。(⇒14ページ)
 - 3, 4: 使用しません。
- ⑬ DC5V 端子
付属品の専用 AC アダプターを接続します。(⇒接続方法は8ページ)

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

仕様

子機

はじめに

使用前に

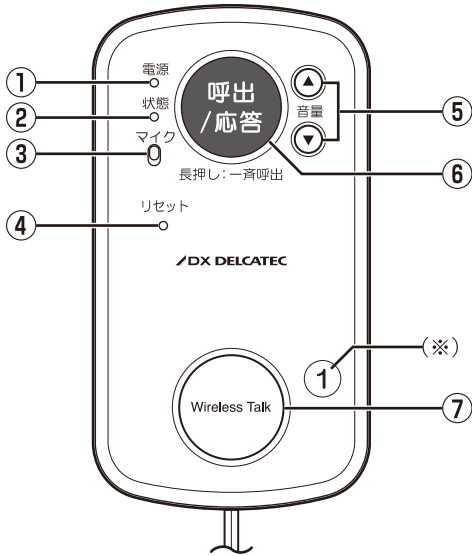
使いかた

設定する

故障と判断する前に

仕様

<正面>



- ① 電源ランプ } 本製品の状態をLEDランプの点灯状態で示します。
- ② 状態ランプ } 詳しくは「ランプの表示について」(→7ページ)

③ マイク
通話時はこの部分に向かって話します。

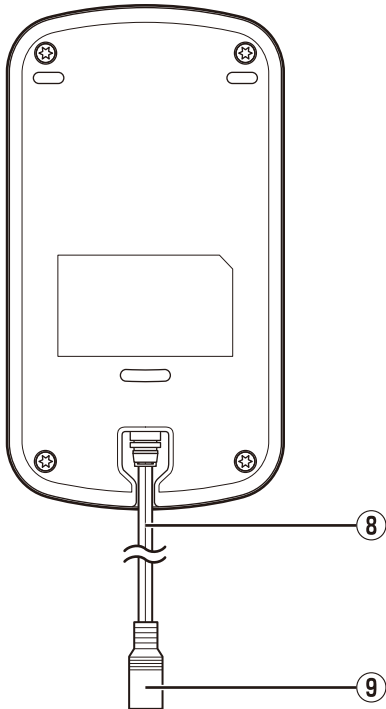
④ リセットボタン(通常は使用しません)
万一本製品が動作しなくなった場合に、先の細いもので押し
てください(2秒以上長押し)。
なお、押しても登録情報は消去されません。

⑤ 音量▲/▼ボタン
音量(受話音量・着信音量)を調節します。
(→操作方法は12ページ)

⑥ 呼出/応答ボタン
・ 親機や他の機器を呼び出すとき、または呼出に応じるとき
に使用します。
・ 長押し(3秒以上)すると、登録されているすべての機器を
「一斉呼出」(→11ページ)します。

※ 数字ラベル
工場出荷時は親機の数字ボタンに対応した番号が貼られてい
ます。

<背面>

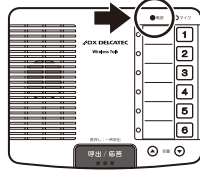

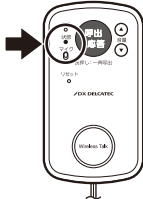
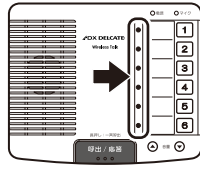


⑦ スピーカー
着信音や通話時の相手の声はここから聞こえます。

⑧ 電源ケーブル

⑨ DC5V 端子
付属品の専用 AC アダプターを接続します。
(→接続方法は9ページ)

ランプの表示について

		親機	子機
電源ランプ (親機・子機)			
ランプの状態		機器の状態	
緑	点灯	電源「入」	電源「入」
赤	点灯	—	初期化中
赤	点滅(1秒おき)	子機が1台も登録されていない	親機に登録されていない
緑/赤	交互に点滅	登録モード	登録モード
状態ランプ (子機のみ)			
ランプの状態		機器の状態	
緑	点灯		呼出中
緑	点滅(1秒おき)		着信中
緑	ゆっくり点滅(2秒おき)		通話中
赤	点滅(1秒おき)		親機との通信エラー
黄	点灯		自動応答モード
着信ランプ (親機のみ)			
ランプの状態		機器の状態	
緑	点灯	呼出中/通話中	
緑	点滅(1秒おき)	着信中	
緑	ゆっくり点滅(2秒おき)	簡易移動機<別売>または子機間の通話中(注)	
赤	点灯	初期化中(指定した子機番号に応じて)	
赤	点滅(1秒おき)	数字ボタンを押した状態	
赤	ゆっくり点滅(5秒おき)	簡易移動機<別売>の電池残量少	

(注) 親機が通話していない場合

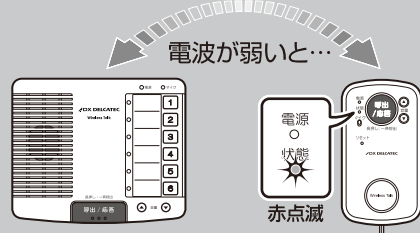
快適な通話を保つために…

必ず、使用される場所で実際に通話ができることを確認してください。

ご注意

取り付けの前に…
親機からの電波は十分届いていますか？

親機・子機の電源が「入」の状態、子機を取付場所にあてがい、状態ランプが赤点滅しないことを確認してください。赤点滅する場合は親機からの電波が不十分です。取付場所を変え、状態ランプが消灯する場所を選んでください。



はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

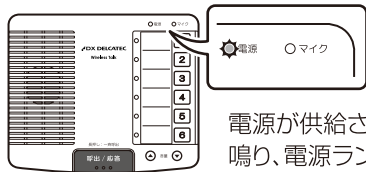
仕様

準備する

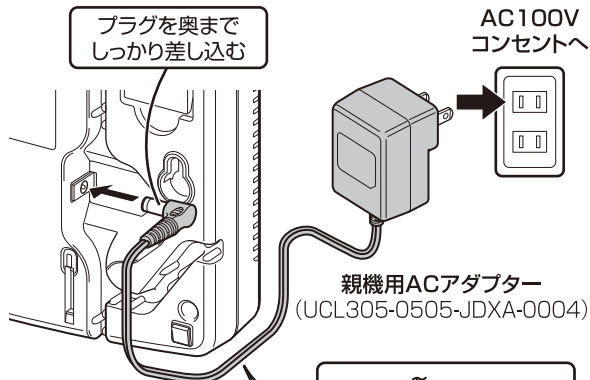
親機を準備する

親機に AC アダプターをつなぐ

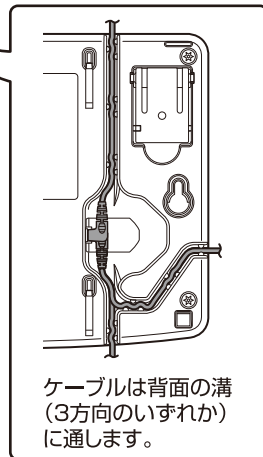
付属の親機用 AC アダプター<品番: UCL305-0505-JDXA-0004>を、親機背面の DC 5V 端子に接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。電源が供給されると、電源ランプが緑色に点灯します。



電源が供給されると、「ピー」と音が鳴り、電源ランプが緑色に点灯します。

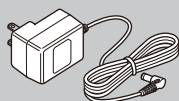


親機用 AC アダプター
(UCL305-0505-JDXA-0004)

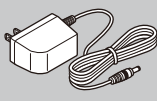


注意 必ず付属の専用 AC アダプターを使用する
他の機器の AC アダプターを接続すると、故障や感電等の原因となります。

ご注意 セットには2種類の AC アダプターが同梱されています。形状および製品記載の品番を確認の上、必ず専用の AC アダプターを使用してください。



親機用 AC アダプター
(UCL305-0505-JDXA-0004)

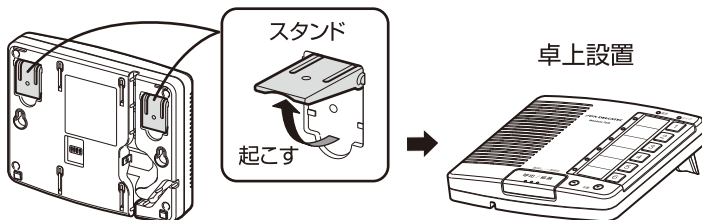


子機用 AC アダプター
(GCF305S-0506)

親機を設置する

卓上設置の場合

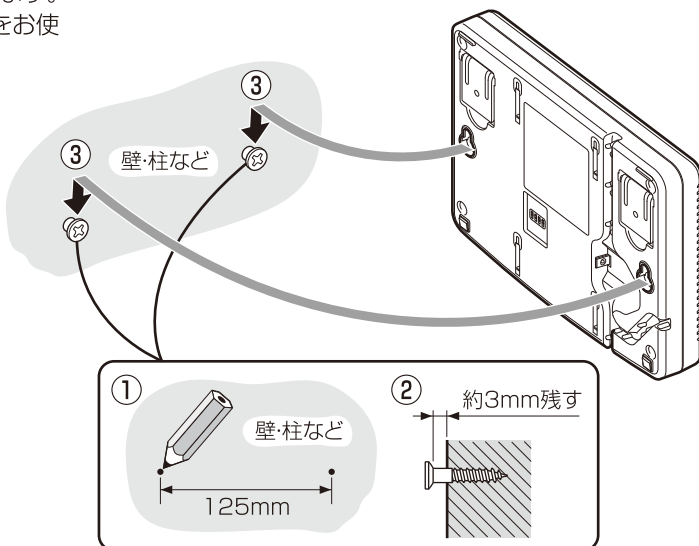
親機背面のスタンド 2ヶ所を指で起こします。



壁掛け設置の場合

本製品は、壁にかけてお使いいただくこともできます。取り付けには付属の木ネジ(3.1×16mm)2本をお使いください。

- ① 取り付ける壁面にネジ穴の印をつけます
取り付ける位置に鉛筆等で印をつけます。
- ② 木ネジを取り付けます
取付面との隙間が3mm程度開くように付属の木ネジ2本を取り付けます。
- ③ 本製品を取り付けます
背面にある2ヶ所の壁掛け穴をネジに引っ掛け、しっかりと固定されるまで引き下げます。



メモラベルに名前などを記入する

本体正面の数字ボタン横に登録相手先の名前などを記入できます。(P4 ⑦参照)

子機を準備する

子機に AC アダプターをつなぐ

付属の子機用 AC アダプター<品番：GCF305S-0506>を、子機の電源ケーブル DC 5V 端子に接続し、電源プラグをコンセントに差し込みます。電源が供給されると、「ピー」と音が鳴り、電源ランプが緑色に点灯します。

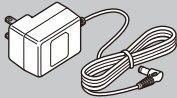


必ず付属の専用 AC アダプターを使用する

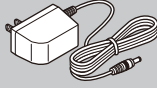
他の機器の AC アダプターを接続すると、故障や感電等の原因となります。

ご注意

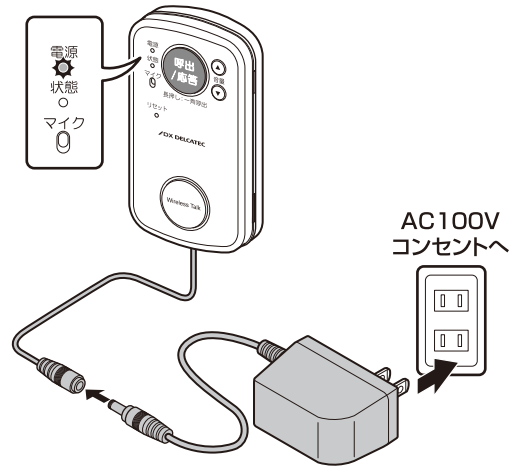
セットには2種類の AC アダプターが同梱されています。形状および製品記載の品番を確認の上、必ず専用の AC アダプターを使用してください。



親機用 AC アダプター
(UCL305-0505-JDXA-0004)



子機用 AC アダプター
(GCF305S-0506)



子機用 AC アダプター
(GCF305S-0506)

子機を壁などに取り付けてお使いになる場合

本製品は、壁にかけてお使いいただくこともできます。取り付けには付属の木ネジ(3.1×16mm)2本をお使いください。

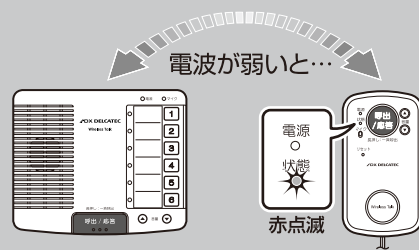
快適な通話を保つために…

必ず、使用される場所で実際に通話ができることを確認してください。

ご注意

取り付けの前に… 親機からの電波は十分届いていますか？

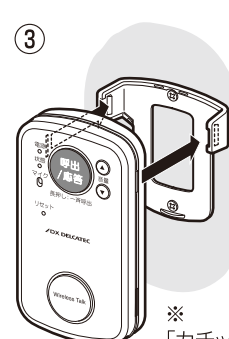
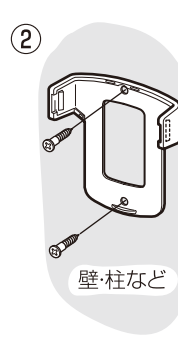
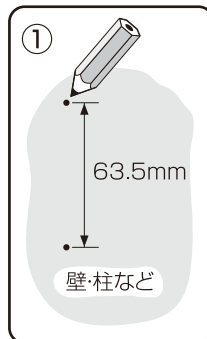
親機・子機の電源が「入」の状態、子機を取付場所において、状態ランプが赤点滅しないことを確認してください。赤点滅する場合は親機からの電波が不十分です。取付場所を変え、状態ランプが消灯する場所を選んでください。



- ① 取り付ける壁面にネジ穴の印をつけます
取り付ける位置に鉛筆等で印をつけます。

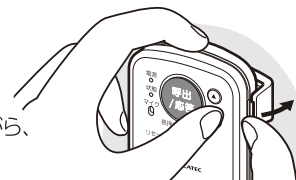
- ② ベルトクリップを取り付けます
ベルトクリップの2ヶ所の取付穴に、付属の木ネジ2本をしっかりとねじ込み固定します。

- ③ 子機を取り付けます
取り付けたベルトクリップに子機を取り付けます。取り付け後はしっかりと固定されていることを確認してください。



※ 「カチッ」と音がするとところまでしっかりと取り付けてください。

※ 取り外す時は、一方の手で本体を押えながら、もう一方の手の指で少し広げてください。



はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

仕様

通話する

通話ができない場合は「故障と判断する前に」(⇒17・18ページ)をご覧ください。

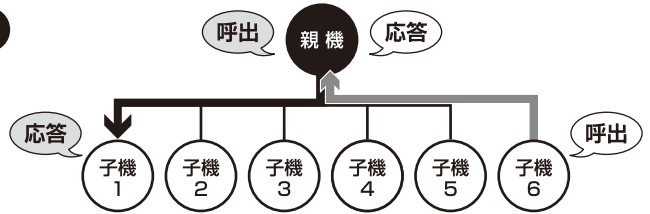
memo 「通話中」と「待受中」について

- **通話中** …… 登録されている他の機器と通話をしている状態をいいます。
- **待受中** …… 電源が入の状態、呼び出しをしていない状態、あるいは登録されている他のどの機器とも通話をしていない状態をいいます。

特定の相手と通話する(指定呼出)

親機から特定の相手(子機)を呼び出したり、子機から親機だけを呼び出して通話することができます。

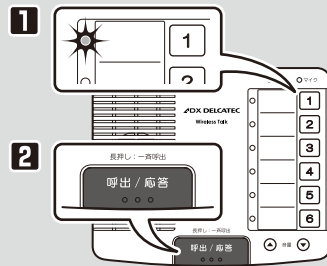
ご注意 子機からは指定呼出できません。



相手呼び出す

例) 番号「1」に登録されている子機を呼び出す

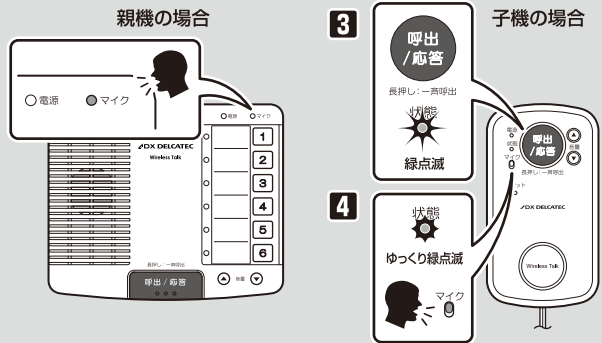
- 1** 待受中に、呼び出したい相手の数字ボタン(1~6のいずれか)を押す
押した番号の着信ランプが赤点滅します。
● 子機から親機を呼び出すには次の**2**からはじめてください。
- 2** 呼出/応答ボタンを押す
押した番号の着信ランプが緑点灯し、呼出音が鳴ります。(押して、離れたとき呼び出されます。)
● 呼出を中止するとき
呼出中に呼出/応答ボタンを押します。



呼出に応じる

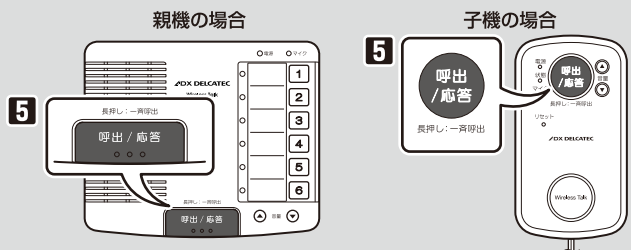
- 3** 着信音が鳴ったら、呼出/応答ボタンを押す
着信中は状態ランプが緑点滅します。
- 4** 相手と話す(機器に向かって30cm以内)
相手の声の大きさ(受話音量)を変えたいときは通話中に音量▲/▼ボタンを押します。(※1)
通話中のランプ動作は以下の通りです。
(親機の場合……押した番号または、呼び出された相手の番号の着信ランプが緑点灯
子機の場合……状態ランプがゆっくり緑点滅

(※1) 詳しくは「相手の声の大きさを変える(受話音量)」(⇒12ページ)をご覧ください。



通話を終えるには

- 5** 親機か子機のどちらかの呼出/応答ボタンを押す

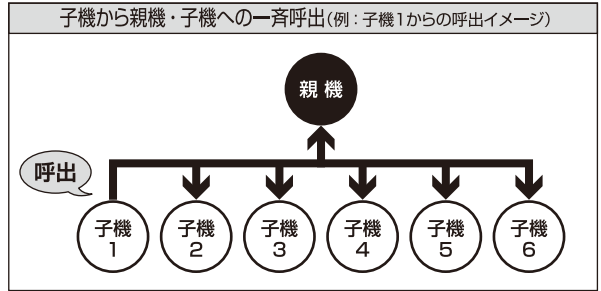
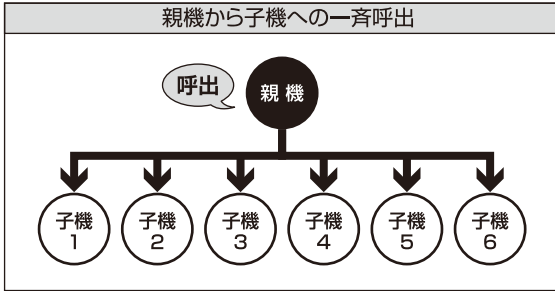


ご注意 なお、通話時間は無制限ですので、どちらかが呼出/応答ボタンを押さないと通話は終了されません。

一斉呼出をする

登録されているすべての機器を一斉に呼び出すことができます。
また、呼び出しに最初に応じた1台と通話をすることができます。

ご注意 通話は1対1となります。



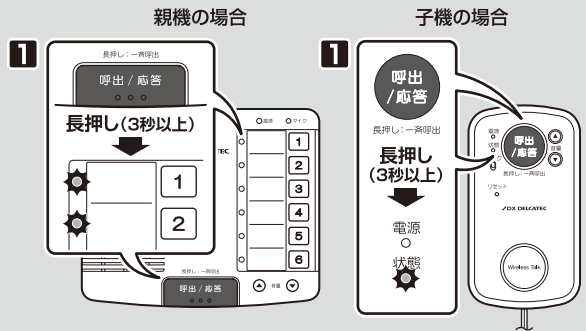
登録されているすべての機器を呼び出す

- 1 待受中に、呼出/応答ボタンを長押し(3秒以上)して「ピッ」と音が鳴ったら手を離してください。
(10秒以上は押さないでください)

ランプ(※1)が緑点灯し、呼出音が鳴ります。

- (※1)
- 親機の場合 ……登録されている機器
 - すべての着信ランプ
 - 子機の場合 ……状態ランプ

- 呼出を中止するとき
呼出中に呼出/応答ボタンを押します。



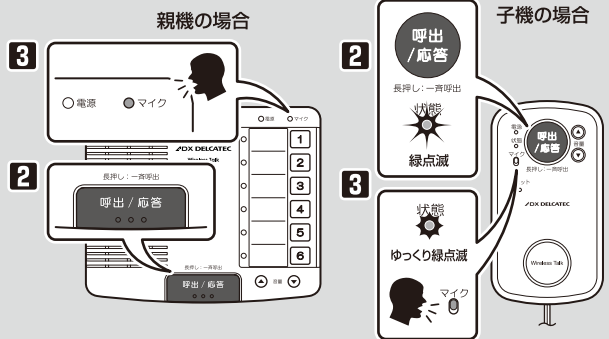
呼出に応じるには

- 2 着信音が鳴ったら、呼出/応答ボタンを押す
着信中は、ランプ(※2)が緑点滅します。
- (※2)
- 親機の場合 ……呼び出した子機の番号の着信ランプ
 - 子機の場合 ……状態ランプ

- 3 相手と話す(機器に向かって30cm以内)
相手の声の大きさ(受話音量)を変えたいときは通話中に音量▲/▼ボタンを押します。(※3)
通話中のランプ動作は以下の通りです。

親機の場合 ……押した番号または、呼び出された相手の番号の着信ランプが緑点灯
子機の場合 ……状態ランプがゆっくり緑点滅

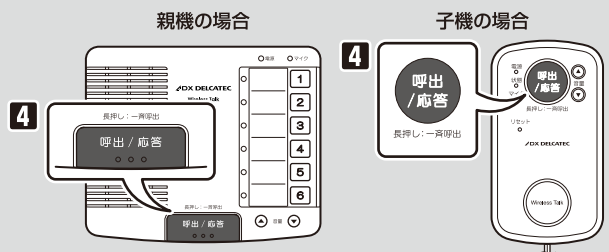
memo 最初に呼出に応じた1台との通話となります。



(※3) 詳しくは「相手の声の大きさを
変える(受話音量)」(▶12ページ)をご覧ください。

通話を終えるには

- 4 親機か子機のどちらかの呼出/応答ボタンを押す



ご注意 なお、通話時間は無制限ですので、どちらかが呼出/応答ボタンを押さないと通話は終了されません。

相手の声の大きさを変える(受話音量)

通話中の音量を、4段階(大/中/小/最小)に調節することができます。【工場出荷時設定：大】

※ 音量は通話中のみ調整できます。

memo 親機または子機ごとに、それぞれ個別に設定できます。

通話中のみ

通話中に、音量▲/▼ボタンを押す

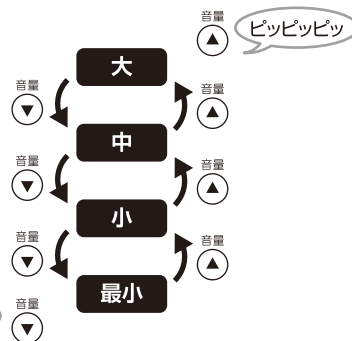
- ▲ボタン…音量を上げる
- ▼ボタン…音量を下げる

ボタンを押すたびに音量が変わります。

※ 音量「大」時に▲ボタンを押したとき、あるいは音量「最小」時に▼ボタンを押したときは「ピッピッピッ」と警告音が鳴ります。

※ 警告音は調整できません。

ご注意 音量ボタンを押した際の「カチ、カチ」というボタンの操作音や「ピッピッピッ」という警告音が通話相手に聞こえる場合がありますが、故障ではありません。



着信音の大きさを変える(着信音量)

着信時の着信音量を、4段階(大/中/小/切)に調節することができます。【工場出荷時設定：大】

memo 親機または子機ごとに、それぞれ個別に設定できます。

待受中のみ

待受中に、音量▲/▼ボタンを押す

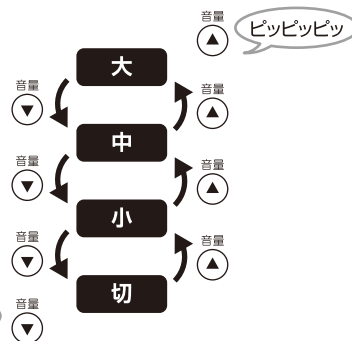
- ▲ボタン…音量を上げる
- ▼ボタン…音量を下げる

ボタンを押すたびに着信音(ベル 1)が鳴り、音量が変わります。

※ 音量「大」時に▲ボタンを押したとき、あるいは音量「切」時に▼ボタンを押したときは「ピッピッピッ」と警告音が鳴ります。

※ 警告音は調整できません。

ご注意 呼出音(相手を呼び出すとき自分から出る音)の音量は変更できません。



着信音の鳴り分け設定 (親機のみ)

親機には着信音で呼出元が判別できる、着信音鳴り分け機能があります。
親機への着信の際、数字ボタン1~6に登録された機器ごとに、それぞれ別の着信音を設定することができます。
着信音のパターンは8種類から選べます。

ご注意

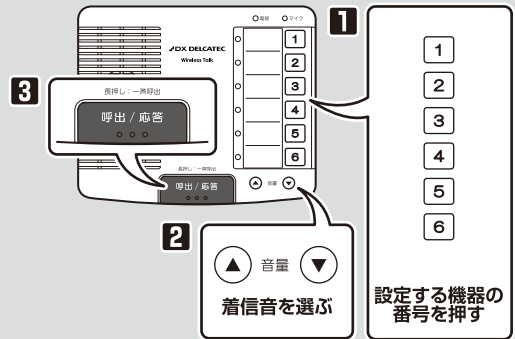
- 呼出音の鳴り分け設定はできません。
- 子機の着信音は鳴り分け設定できません。
- 着信音を鳴らしたくない場合は、「切」に設定してください。(⇒12 ページ)
- 親機からの着信と別の子機からの着信で、着信音は異なります。
親機からの着信の場合 着信音 1
別の子機からの着信の場合(一斉呼出) 着信音 4
簡易移動機<別売>からの着信の場合 着信音 4

着信音1	ベル1	着信音5	メロディ1
着信音2	ベル2	着信音6	メロディ2
着信音3	ベル3	着信音7	メロディ3
着信音4	ベル4	着信音8	メロディ4

【工場出荷時設定：着信音 1】

設定する

- 1 待受中に、親機の数字ボタン(1~6のいずれか)のうち、設定したい機器の番号を押す**
押した番号に対応する着信ランプが赤点滅します。
登録されていない番号は点灯しません。
- 2 着信ランプが赤点滅中(10秒以内)に、親機の音量▲/▼ボタンを押す**
押すごとに着信音が変わり、選んでいる着信音が鳴ります。
- 3 呼出/応答ボタンを押す**
「ピー」と音が鳴り、選択した着信音に設定されます。



※ 3 で呼出/応答ボタンを押さずに10秒以上経過すると、「ピッピッピ」と警告音が鳴り、終了します(変更は反映されません)。



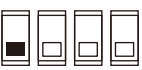
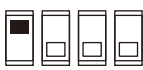
電池残量警告音の入・切設定 簡易移動機<別売>をお使いの場合のみ

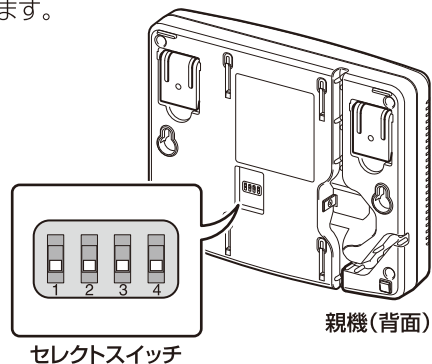
簡易移動機<別売>をお使いの場合、簡易移動機の電池残量が少なくなったとき、警告音とランプでお知らせします。
親機のみ電池残量警告音を鳴らさないように設定することができます。【工場出荷時設定：入】

ご注意 簡易移動機<別売>ごとに設定することはできません。「切」に設定した場合は、親機の警告音は鳴りませんが、簡易移動機の警告音は鳴ります。また電池残量警告のランプの赤点滅は「切」にできません。

設定の「入」・「切」は、親機背面にあるセレクトスイッチで切り換えます。

- 先の細いマイナスドライバー等を使用して切り換えてください。
無理に操作すると破損するおそれがあります。

 設定「入」 (警告音を鳴らす) 【工場出荷時設定】	 設定「切」 (警告音を鳴らさない)
 1 2 3 4 1番を「下」にする	 1 2 3 4 1番を「上」にする



はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

仕様

自動応答を設定する

自動応答を「入」に設定すると、親機から子機を呼び出した際、呼出／応答ボタンを押さなくても、自動的に通話状態に切り換えます。【工場出荷時設定：切】

自動応答について

- 通常応答モード：呼出／応答ボタンを押して応答するモード ⇒ 簡易移動機<別売>または子機の状態ランプは待受中、消灯します。
- 自動応答モード：自動で通話がはじまるモード ⇒ 簡易移動機<別売>または子機の状態ランプは待受中、黄点灯します。

<重要>

⚠ 注意

- 自動応答モードに設定する簡易移動機<別売>または子機は1台のみでお願いします
複数台でこの設定にしますと、自動応答モードにした簡易移動機<別売>または各子機からの応答信号が、同時に親機に戻ってきますので相互に干渉してつながらないことがあります。
また、つながった場合でも、呼び出したい簡易移動機<別売>または子機ではないことや、自動応答でない簡易移動機<別売>または子機とは、この設定を解除するまでつながりません。
- 着信音は鳴りません
呼び出した方の声が簡易移動機<別売>または子機から突然でますので、お年寄りや心臓の弱い方には大声で呼びかけないよう注意してください。

自動応答を「入」に設定する

- 1 待受中に、呼出／応答ボタンを長押し(10秒以上)して、「プー」と音が鳴ったら手を離す。
途中で「ピッ」という短い音が鳴りますが、「プー」と鳴るまで押しと、すべてのランプが黄点灯します。
 - 2 すべてのランプが点灯している間(10秒以内)に音量▲ボタンを押して、続けて音量▼ボタンを押す。
 - 3 設定が完了すると「ピー」と音が鳴ります。
(状態ランプが黄点灯します。)
- 設定を「切」にするとき
設定「入」の状態で上記手順を行なうと、設定が「切」に切り換わり、状態ランプが消灯します。



一斉呼出機能の入・切設定

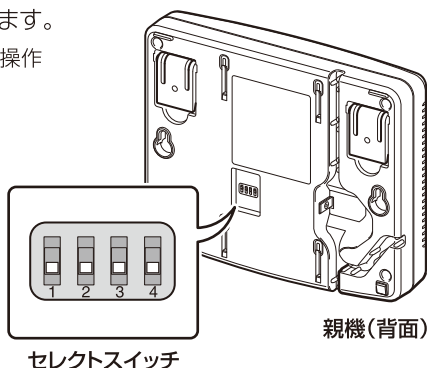
子機からの一斉呼出機能を、「入」または「切」に設定できます。
「切」に設定した場合(※)、一斉呼び出しの操作(➡11ページ)を行なっても、子機から呼び出せるのは親機のみとなります。【工場出荷時設定：入】 ※ 上記設定の場合でも親機からの一斉呼び出しは可能です。

ご注意 子機ごとに設定することはできません。「切」に設定した場合は、登録されているすべての子機で機能が「切」(一斉呼出できない状態)となります。

設定の「入」・「切」は、親機背面にあるセレクトスイッチで切り換えます。

- 先の細いマイナスドライバー等を使用して切り換えてください。無理に操作すると破損するおそれがあります。

設定「入」 (一斉呼出できる) 【工場出荷時設定】	設定「切」 (一斉呼出できない)
<p>1 2 3 4</p> <p>2番を「下」にする</p>	<p>1 2 3 4</p> <p>2番を「上」にする</p>



機器の登録を解除する（初期化する）

このようなときに
必要です

- 別売の簡易移動機を登録したいとき
- 別の親機に再登録したいとき
- 子機を交換する場合で、すでに最大登録台数の6台が親機に登録されているとき
- 親機が複数台あり、各グループの組み合わせを変更したいとき
- 使用しない子機の登録を削除したいとき

親機に登録されている子機の登録情報を解除する

必ず子機の登録解除も行なってください。

- 1** 待受中に、呼出／応答ボタンを長押し（10 秒以上）して、「プー」と音が鳴ったら手を離す。

途中に「ピッ」という短い音が鳴りますが、「プー」と鳴るまで押しと、すべてのランプが黄点灯します。

- 2** 全てのランプが黄点灯している間（10 秒以内）に、音量▼ボタンを 2 回押す。

登録されている子機すべての着信ランプが赤点灯します。親機が初期化モードに入ります。

- 3** 着信ランプが赤点灯している間（10 秒以内）に、数字ボタン（1～6 のいずれか）のうち、初期化したい機器の番号を押す。

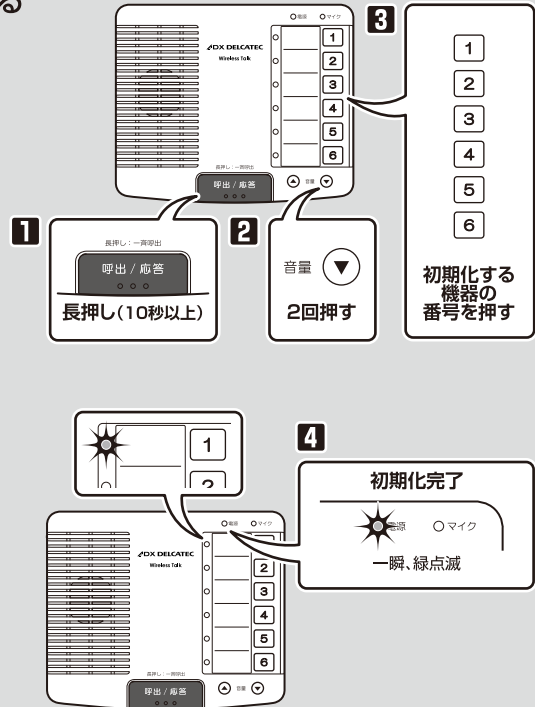
押した番号の着信ランプが赤点灯して、初期化が始まります。
※ 初期化中は電源を切らないでください。

- 4** 初期化が完了すると「ピー」と音が 1 回鳴り、電源ランプが一瞬、緑点滅後、緑点灯にかかります。

また、同時に解除された子機から「ピー、ピー」と 2 回音が鳴り、状態ランプが点滅します。

- 5** 登録解除の確認する

解除した数字ボタン（1～6 のいずれか）を押すと「ピー、ピー、ピー」とエラー音が鳴り解除できたことが確認できます。子機の登録情報がすべて解除された場合のみ、電源ランプが赤点滅します。



子機に登録されている親機の登録情報を解除する

必ず親機の登録解除も行なってください。親機の故障・交換等で親機がない場合は、以下の操作を行ってから、新しい親機に再登録してください。

※故障ではない場合も行えますが、親機の登録も解除してください。

- 1** 待受中に、呼出／応答ボタンを長押し（10 秒以上）して、「プー」と音が鳴ったら手を離す。

途中に「ピッ」という短い音が鳴りますが、「プー」と鳴るまで押しと、すべてのランプが黄点灯します。

- 2** 全てのランプが黄点灯している間（10 秒以内）に、音量▼ボタンを 2 回押す。

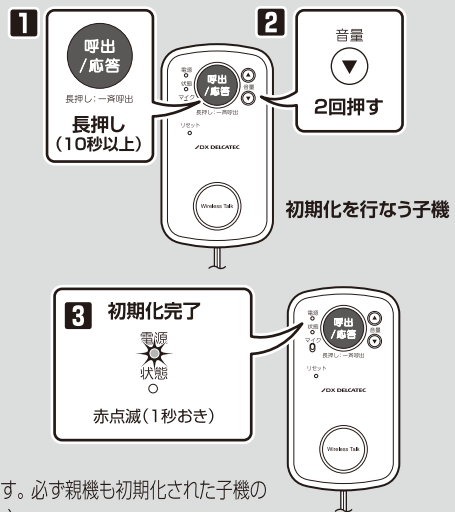
電源ランプが赤点灯し、「ピー」と音が鳴ります。

子機の初期化が始まります。

※ 初期化中は電源を切らないでください。

- 3** 初期化が完了すると「ピー」と音が 1 回鳴り、電源ランプが赤点滅（1 秒おき）します

※ 子機のみ初期化を行った場合、親機には子機の登録情報が残ったままとなります。必ず親機も初期化された子機の番号に応じて、親機の初期化（子機の登録情報解除）も忘れずに行なってください。



以上完了しましたら登録作業に進んでください。

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

仕様

親機に登録する

このようなときに
必要です

- 別売の簡易移動機の増設や子機を交換するとき
- 登録削除後、再登録するとき

本システムは、簡易移動機<別売>および子機を合計最大6台まで登録することができます。
登録する前に、初期化(15 ページ)を行ない、新たに登録する機器の台数分の登録を解除しておく必要があります。

- 登録する子機の電源を「入」にし、登録されている他のすべての機器が待受状態であることを確認してください。
- 簡易移動機<別売>を登録する場合は、簡易移動機<別売>の取説を参照ください。

memo

- 登録中は呼出、通話はできません。

親機の操作

- 1** 待受中に、呼出／応答ボタンを長押し(10秒以上)して、「ブー」と音が鳴ったら手を離す。

途中で「ピッ」という短い音が鳴りますが、「ブー」と鳴るまで押すとすべてのランプが黄点灯します。

- 2** 全てのランプが黄点灯している間(10秒以内)に、音量▲ボタンを2回押す。

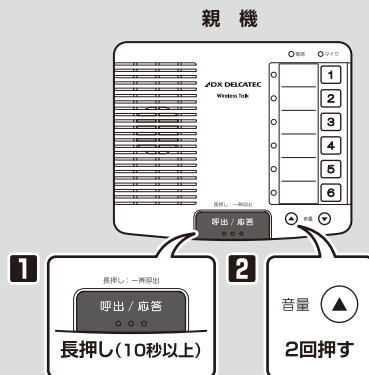
「ピー」と音が鳴り、親機が登録モードに入ります。

※ 電源ランプが緑／赤交互に点滅します。

※ 機器登録の空きが複数ある場合、若い番号から自動的に登録されます。

※ すでに6台登録されている場合、「ピッ、ピッ、ピッ」とエラー音が鳴ります。

使わない機器の登録を初期化してから、登録をしてください。



親機が登録モード中

登録する機器の操作

- 3** 登録する機器(簡易移動機<別売>または子機)の待受中に、呼出／応答ボタンを長押し(10秒以上)して、「ブー」と音が鳴ったら手を離す。

途中で「ピッ」という短い音が鳴りますが、「ブー」と鳴るまで押すと、すべてのランプが黄点灯します。

- 4** すべてのランプが点灯中(10秒以内)に、音量▲ボタンを2回押す

登録モードになり、自動登録が始まります。

※ 登録中は、電源ランプが緑／赤交互に点滅します。

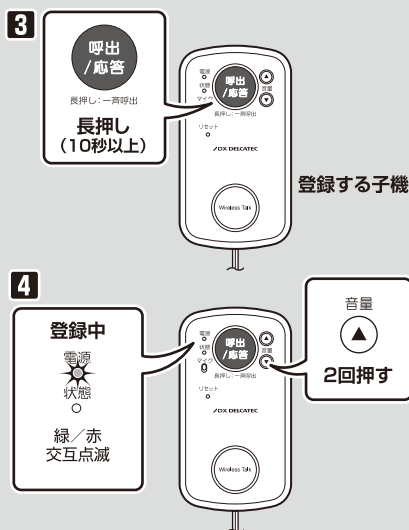
※ 緑／赤交互点滅の状態は約1分で自動的に終了します。

緑／赤交互点滅中に登録が出来なかった場合は、

1に戻ってやりなおしてください。

※ 登録中は各機器の電源を切らないでください。

※ 登録を中断するときは、親機か子機のどちらか一方の呼出／応答ボタンを押します。



登録完了

- 5** 登録した機器の呼出／応答ボタンを押し、呼出ができることを確認してください。

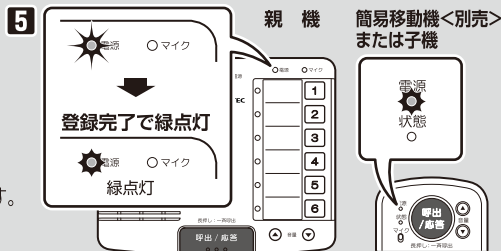
登録完了時は、それぞれの機器で以下のランプ動作と音が鳴ります。

(親機の場合)……………登録された機器番号の着信ランプが

約1秒赤点灯します。音は鳴りません。

(子機の場合)……………「ピー」と音が2回鳴り、電源ランプが緑点灯します。

(登録がうまくいかないときは **1**に戻ってやりなおしてください)



故障と判断するまえに

本製品のすべての通話は、親機を介して行ないます。正常に動作しないときは、まず親機から確認してください。

親機

症状	ここをチェック	対策・処置のしかた
呼び出しましたは、通話できない	電源ランプが消灯していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● ACアダプターをコンセントにしっかりと差し込んでください。 ● ACアダプターを親機にしっかりと差し込んでください。 ● 停電している場合は、復旧までおまちください。
	電源ランプが赤点滅していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 子機が1台も登録されていません。再登録をしてください。 <p style="text-align: right;">(⇒16ページ)</p>
	子機の状態ランプが赤点滅していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 子機または親機を移動して(1分ほど待って)、子機の状態ランプが消える場所で再度、呼出/応答ボタンを押して確認してください。 ● 近くにDECT準拠方式のコードレス電話やPHSがある場合は、干渉となるため、離してお使いください。(⇒3ページ)
	親機の数字ボタンを押しても着信ランプが点灯せず、エラー音「ピッピッピ」が鳴りませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 子機または簡易移動機を親機に登録してください。 <p style="text-align: right;">(⇒16ページ)</p>
	子機の電源ランプが赤点滅していませんか？	
相手の声が小さい、または雑音がする、音が途切れる	受話音量の設定が「最小」または「小」になっていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 「中」または「大」に設定してください。 <p style="text-align: right;">(⇒12ページ)</p>
	同時に話していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 相手が話し終えてから話してください。(通話は音の大きい方が優先されます。)
	親機の周囲の音が大きくありませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 周囲の静かなところで使用してください。
	相手のマイク穴がふさがれていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● マイク穴をふさがらないでください。
	音量ボタンを操作していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量ボタンを押すと、相手側にボタンの操作音が漏れ、通話が途切れたりする可能性があります。
	本体を振動させていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 振動させないでください。振動がマイクに伝わり、こちらの音が優先されます。
エコーや反響音(ハウリング)がする	マイク穴に異物(ホコリ、水など)が詰まっていますか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 異物を取り除いてください。
	親機と子機の距離が近すぎませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 1m以上離れた場所で通話をしてください。
こちらの声が相手に聞こえない	相手の周囲音が大きくありませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 周囲の静かなところで使用してください。
	マイクから離れすぎていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 親機に向かって(30cm以内)話してください。
着信音が小さいまたは鳴らない	着信音量の設定が「切」または「小」になっていませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 「中」または「大」に設定してください。 <p style="text-align: right;">(⇒12ページ)</p>

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

仕様

子機

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

故障と判断する前に

仕様

症状	ここをチェック	対策・処置のしかた
呼び出しましたは、通話できない	電源ランプが消灯していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● ACアダプターを子機のプラグやコンセントにしっかりと差し込んでください。 ● 停電している場合は、復旧までおまちください。 ● リセットスイッチを先の細いもので押してください。(➡6ページ)
	電源ランプが赤点滅していませんか？	● 親機に登録してください。(➡16ページ)
	状態ランプが赤点滅していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 親機の電源が入っていることを確認してください。 ● 親機の数字ボタンを押して該当する子機のランプが点灯するか確認してください。(➡7ページ) ● 子機または親機を移動して、子機の状態ランプが消える場所で再度、呼出/応答ボタンを押して確認してください。 ● 近くにDECT準拠方式のコードレス電話やPHSがある場合は、干渉となるため、離してお使いください。(➡3ページ)
相手の声が小さい、または雑音がする、音が途切れる	受話音量の設定が「最小」または「小」になっていませんか？	● 「中」または「大」に設定してください。(➡12ページ)
	同時に話していませんか？	● 相手が話し終えてから話してください。(通話は音の大きい方が優先されます。)
	子機の周囲の音が大きくありませんか？	● 周囲の静かなところで使用してください。
	相手のマイク穴がふさがれていませんか？	● マイク穴をふさがらないでください。
	音量ボタンを操作していませんか？	● 音量ボタンを押すと、相手側にボタンの操作音が漏れ、通話が途切れたりする可能性があります。
	本体を振動させていませんか？	● 振動させないでください。振動がマイクに伝わり、こちらの音が優先されます。
エコーや反響音(ハウリング)がする	マイク穴に異物(ホコリ、水たまりなど)が詰まっていますか？	● 異物を取り除いてください。
	親機やその他の子機との距離が近すぎませんか？	● 1m以上離れた場所で通話をしてください。
こちらの声が相手に聞こえない	相手の周囲音が大きくありませんか？	● 周囲の静かなところで使用してください。
	マイクから離れすぎていませんか？	● 子機に向かって(30cm以内)話してください。
着信音が小さいまたは聞こえない	着信音量の設定が「切」または「小」になっていませんか？	● 「中」または「大」に設定してください。(➡12ページ)
一斉呼出ができない	親機背面にあるセレクトスイッチ「2」が「上」(一斉呼出を禁止している状態)になっていませんか？	● 親機のセレクトスイッチ「2」を「下」にしてください。(➡14ページ)
	自動応答「入」(状態ランプが黄色点灯)になっていませんか？	● 自動応答を「切」に設定してください。(➡14ページ)

仕様

電気性能規格

品名	親機・子機6台セット	
	親機(※1)	子機(※2)
型番	WCP10CS6	
標準規格	ARIB STD-T101準拠	
周波数 (MHz)	1,895.616~1,902.528(1.728MHz step)	
通信方式	時分割複信方式	
通話可能距離 (m)	100(見通し)	
登録可能台数	親機に対して最大6台(簡易移動機<別売>+子機)	
防水性能	—	IPX3(防雨形)
電源	専用ACアダプター 入力: AC100V(50/60Hz) 出力: DC5V 0.5A	専用ACアダプター 入力: AC100V(50/60Hz) 出力: DC5V 0.5A
消費電力 (W)	0.9(待受時) 1.1(通話時)	0.4(待受時)(※3) 0.7(通話時)(※3)
使用温度範囲 (°C)	0~+40	
外形寸法 (mm)	26(高さ)×150(幅)×125(奥行)	110(高さ)×61(幅)×20(奥行)
質量 (g)	本体 210	本体 100
付属品	ACアダプター(コード長1.8m) (UCL305-0505-JDXA-0004)…×1個 木ネジ(3.1×16mm)…×2本	ACアダプター(コード長1.8m) (GCF305S-0506) ……×6個 ベルトクリップ ……×6個 木ネジ(3.1×16mm)…×12本

動作仕様

品名	親機・子機6台セット	
	親機(※1)	子機(※2)
型番	WCP10CS6	
呼出	子機へ	親機、別の子機
通話時間	無制限(呼出/応答ボタンを押すまで)	
通話音量/着信音量 (通話音量と着信音量は非連動)	通話 4段階(大/中/小/最小) 着信 4段階(大/中/小/切)	
着信音	8種類から選択	2種類固定(※4)
自動応答	—	有
通信不可時の警告 (ランプと警告音)	—	有
簡易移動機の電池切れ警告 (ランプと警告音)	有	—

(※1) 親機のみを補修用部品としてご注文いただく際は「WCC10親機」とご指定ください。

(※2) 子機のみを補修用部品としてご注文いただく際は「WCS10子機」とご指定ください。

(※3) 自動応答モード「切」時

(※4) 親機からの着信の場合 …… 着信音1

別の子機からの着信の場合(一斉呼出) …… 着信音4

簡易移動機<別売>からの着信の場合 …… 着信音4

規格および仕様は改良により、予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

はじめに

ご使用前に

使いかた

設定する

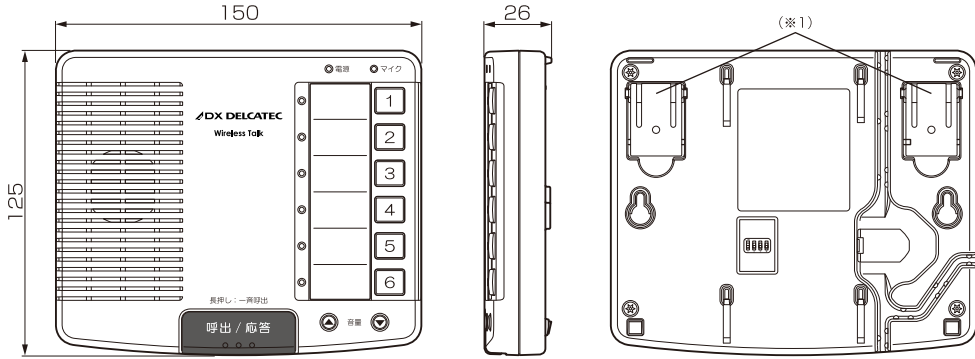
故障と判断する前に

仕様

外形寸法

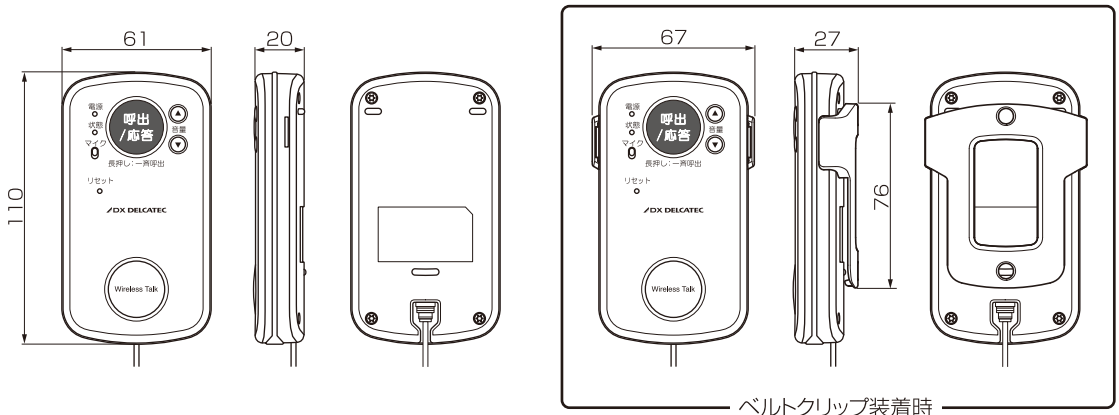
(単位：mm)

親機



(※1) スタンドを引き起こして使用する場合、高さは47mmになります。

子機



ベルトクリップ装着時

※この製品を処分するときは、地方自治体のルールにしたがって処理してください。

保証書

型番		WCP10CS6	
ご住所・ご店名			
販売店		電話() -	
お名前	ふりがな	様	
お客様			
お買上年月日		保証期間	お買上日から
年 月 日		1年	年間

※本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管ください。

●無料修理規定

- 本保証書は、お買い上げから下記保証期間内に故障した場合、無料修理規定により、当社が責任をもって無料修理を行なうことをお約束するものです。(消耗部品は除く)したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な場合は、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにお問い合わせください。なお、商品を直接当社へ送付した場合の送料などはお客様のご負担とさせていただきます。また、保証期間経過後の修理についても、お買い求めの販売店、当社営業所またはカスタマーセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- 保証期間中、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い求めの販売店を通じて無料修理いたしますのでお申し付けください。
- 次のような場合には保証期間内でも有料修理となります。
 - ①ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ②お買上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
 - ③火災、地震、噴火、洪水、津波などの水害、落雷、その他の天変地異、戦争・暴動による破壊行為、公害、損害、ガス害、ねずみや昆虫、鳥など動物の行為による損傷、指定以外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷。
 - ④塗装の色あせなどの経年劣化や、使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の現象。
 - ⑤用途以外(例えば車両、船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
 - ⑥本保証書を提示・添付されていない場合。
 - ⑦本保証書にお買上げ年月日、お客様名、お買い求めの販売店の記入のない場合、または字句を書き換えられた場合。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This Warranty is valid only in Japan.)
- 期間中の転居、贈答品、その他の理由によりお買い求めの販売店に修理が依頼できない場合には、当社カスタマーセンターまたは当社営業所にご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

カスタマーセンター ☎ 0120-941-542

携帯電話・PHS・一部のIP電話で左記番号がご利用にならない場合 03-4530-8079

(受付時間 9:30~17:00 夏季・年末年始休暇は除く)

お昼時間も土・日・祝日もご利用ください!
DXアンテナ株式会社

ホームページアドレス <http://www.dxantenna.co.jp/>

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号

(1404)